



主将励ますプレーを

ばばだめ！ 広島サンダーズ

久原 大輝

大同生命SVリーグが開幕して、ここまでに18戦を消化した。なかなか勝ち星を積み上げることができず、悔しい試合が続いている。上位6チームが進出することができるチャンピオンシップへ出場するため、負けられない戦いが今後も続くだろう。

さらに、11月下旬の練習中に井上慎一朗選手が左膝を負傷。プレ

ーと背中でチームをけん引し続けている主将の大げがで、他の選手、スタッフに動揺が走った。

負傷した日に彼と少し話したが、彼自身も何が起きているのか分からないような様子だったし、苦しいチーム状況でコートに立ってない悔しさも、これからこみ上げてくるだろう。今は焦らず治療に専念してもらい、またコート上で戦えるように、われわれができることをサポートしていきたい。

彼がチームのことを気にせず、安心してリハビリに取り組んでもらえるように、目の前の試合をがむしゃらに戦うこと。それが、われわれにできる、最大限の行動だと私は考えている。

これまで彼の行動や言動で、チームは幾度となく救われてきた。今度は、チーム全員で彼の心を少しでも動かせるよう、日頃の練習から全身全霊で取り組んでいきたい。
(広島Tマネジャー)

試合中、選手を鼓舞する井上主将Ⓐ

(10月19日)